

# 及川浩治 ピアノ・リサイタル

## トーク&コンサート「名曲の花束」

胸にしみる入魂の演奏と、心和む楽しいお話。子供から大人までとびきり楽しい及川浩治の世界をご堪能ください。

J.S.バッハ

主よ、人の望みの喜びよ[ヘス編]

幻想曲とフーガト短調 BWV 542 [リスト編]

シューマン

トロイメライ

エルガー

愛のあいさつ op.12

リスト

ラ・カンパネラ[ブゾーニ編]

ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13『悲愴』

ショパン

ノクターン 第20番 嬰ハ短調『遺作』

リスト

愛の夢 第3番

ドビュッシー

月の光

サティ

ジムノパディ 第1番

ラヴェル

亡き王女のためのパヴァーヌ

ラ・ヴァルス

※演奏曲目、演奏順は変更になる場合があります。  
予めご了承ください。

令和元年

12月15日(日) 15:00開演(14:30開場)

玉名市民会館ホール

【全席指定】S席 1,500円 A席 1,000円 (当日各500円増し)

※未就学児の入場はお断りいたします。

※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。

※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定しています。

10/7(月)チケット発売

〈プレイガイド〉

玉名市民会館、荒尾総合文化センター、ながす未来館  
原楽器店、熊日プレイガイド(ピブレス熊日会館)

主催 玉名市、(一財)玉名市自治振興公社、熊本県、(公財)三井住友海上文化財団

後援 玉名市教育委員会、玉名市文化協会、玉名演奏者協会

お問合せ 玉名市民会館 TEL. 0968-73-5107 〒866-0016 熊本県玉名市岩崎152番地2

©Yuji Hori

三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第856回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。





# 及川浩治

## ピアノ・リサイタル

### トーク&コンサート「名曲の花束」

J.S. バッハ	主よ、人の望みの喜びよ [ヘス編]
J.S. バッハ	幻想曲とフーガ ト短調 BWV 542 [リスト編]
シューマン	トロイメライ
エルガー	愛のあいさつ op.12
リスト	ラ・カンパネラ [ブゾーニ編]
ベートーヴェン	ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13 『悲愴』
ショパン	ノクターン 第20番 嬰ハ短調 『遺作』
リスト	愛の夢 第3番
ドビュッシー	月の光
サティ	ジムノペディ 第1番
ラヴェル	亡き王女のためのパヴァーヌ
ラヴェル	ラ・ヴァルス

※演奏曲目、演奏順は変更になる場合があります。  
予めご了承ください。



4才からピアノを始める。1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1985年、国立音楽大学に入学。翌1986年にブルガリア国立ソフィア音楽院に留学。1987年にアレクシス・ワイセンベルクの公開セミナーに参加し、ワイセンベルク本人の意向により設けられた最優秀特別賞を受賞、練習用のグランドピアノを授与された。1990年にマルサラ国際音楽コンクールにおいて第1位受賞。また同年、第12回ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて最優秀演奏賞 (Honourable mention) を受賞。1992年、日本国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞している。

1995年にサントリーホールにてデビュー・リサイタルを行い、同年ラムルー管弦楽団定期演奏会 (佐渡裕指揮、サル・プレイエル) に招かれパリ・デビューを飾る。1997年よりミュージック・シェアリング (旧みどり教育財団) による「レクチャー・コンサート」でヴァイオリニスト五嶋みどりと全国各地の小学校、養護学校などで演奏。1998年、札幌PMF (パシフィック・ミュージック・フェスティバル) に出演。1999年のショパン没後150年には、「ショパンの旅」というタイトルのコンサート・ツアーを行ない3万5千人をも動員するショパン・イヤー最大規模のイベントとなった。2002年6月ワイマール州立歌劇場管弦楽団の日本ツアーソリスト、2003年7月にはPMFオーケストラのソリストとして、2004年には佐渡裕ヤング・ピープルズ・コンサートのゲストとして、全国各地で演奏。2005年サントリーホールで行なわれた「デビュー10周年記念コンサート」は満席となり大成功を収め、2008年～2011年には東京・大阪での同時プロジェクト「及川浩治10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストである。2015年2月にはテレビ朝日系列「題名のない音楽会」に出演し、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」の熱演がオンエアされた。

国内主要オーケストラとの共演も数多く、2013年モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、2014年ベルリン交響楽団、2015年ロシア国立交響楽団の各来日公演にてソリストとしてピアノ協奏曲を共演。2015年11月にはブルガリアにてソフィア・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会に出演した。

ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は多くの絶賛の声とともに幅広い層の共感を得ている。

児玉邦夫・幸子、吉本美南子、コンスタンティン・ガネフ、ジュリア・ガネヴァ、ジャン=マルク・ルイサダの各氏に師事。現在、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン：悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン：バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。